

地域及び社会に対する貢献

地域イベントへの参加、ボランティアでの清掃活動等

原子力機構は地域の皆様からの信頼の上に立って研究開発業務を行っています。このため、地域の持続的発展に貢献することを常に念頭に置き、地域の皆様との触れ合いを大切に、地域社会の一員として共に生きていくためのさまざまな活動に取り組んでいます。

2016年度主要な活動実績

地区名	社会貢献活動	ボランティア活動
幌 延	おもしろ科学館2016 in ほろのべ ほろのべ名林公園まつり 幌延町商工会スポーツレク大会等	北海道春と秋のクリーン作戦 天塩川クリーンアップ作戦
青 森	北通り地区盆踊り大会 むつ市産業まつり	むつ事務所周辺環境配慮活動
福 島	檜葉町サマーフェスティバル2016 檜葉町あるこう会	檜葉町春のクリーンアップ作戦
東 海	放射線や原子力に関する勉強会 産業交流フェア、大空マルシェ 東海まつり、勝田全国マラソン大会等	東海村春と秋のクリーン作戦 久慈川水系一斉クリーン作戦
大 洗	大洗町民スポーツフェスティバル 銚田うまっぺフェスタ、地域まつり 施設見学会、町民説明会	大洗町主催「クリーンアップ大洗」 昼休みボランティア清掃活動
東 濃	おもしろ科学館2016 in みずなみ サイエンスフェア2016、地域まつり 岐阜大学への講師派遣	散策路及び植栽の整備、花植作業 土岐川(狭間川)河川清掃 賤洞町内会草刈、地域清掃活動
敦 賀	敦賀まつり、みはまナビフェス マラソン大会、地域まつり 青少年のための科学の祭典2016福井大会 白城祭り、白木盆踊り 常宮神社総参祭、西浦納涼祭	クリーンアップふくい大作戦 笙の川クリーン作戦 本部事務所周辺清掃活動 クリーン美浜、白木海岸清掃 クリーンアップふくい大作戦 in 美浜 県道清掃、水島清掃 クリーンアップふくい大作戦
人 形 峠	青少年のための科学の祭典2016倉敷大会 こども科学実験教室、地域まつり等	上齋原(天王・赤和瀬)、三朝町木地山 清掃活動

人形峠



●社会貢献活動：9行事 協力者61名
●ボランティア活動：1行事 協力者60名

東濃



●社会貢献活動：7行事 協力者 62名
●ボランティア活動：5行事 協力者189名

取組み紹介

幌延



●社会貢献活動：7行事 協力者78名
●ボランティア活動：3行事 協力者22名

敦賀



●社会貢献活動：29行事 協力者386名
●ボランティア活動：17行事 協力者370名

青森



●社会貢献活動：2行事 協力者23名
●ボランティア活動：3行事 協力者51名

福島



●社会貢献活動：2行事 協力者87名
●ボランティア活動：1行事 協力者20名

東海



●社会貢献活動：10行事 協力者 191名
●ボランティア活動：3行事 協力者1,829名

大洗



●社会貢献活動：18行事 協力者232名
●ボランティア活動：2行事 協力者240名

広聴広報と情報公開

原子力機構では研究開発成果の発信のみならず、施設の安全に関する情報等を積極的に公開して透明性を確保するとともに、対話活動等を通じた相互理解の促進に取り組み、地域及び社会からの信頼確保に努めています。

積極的な情報の提供・公開と透明性の確保

原子力機構の活動で得られた幅広い研究開発成果について、報道発表や取材対応など、メディアを通じて、タイムリーに国民の皆様にお知らせするよう努めています。

また、研究者や技術者が自らの研究開発成果を発信する短編動画「Project JAEA」や、原子力機構のさまざまな研究開発の取組みをわかりやすく紹介する広報誌「未来へげんき」、見応えのある写真を中心とし、文章による説明を控え目にした「graph JAEA」などをホームページに掲載するとともに、これらをソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS:公式Twitterアカウント/@JAEA_japan)にて紹介することにより、広く情報発信を行っています。

情報公開請求に対しては、情報公開法の定めに基づき迅速かつ適切に対応するとともに、外部有識者からなる「情報公開委員会」を開催して、情報公開制度の適正な運用を検証するなど、客観性・透明性の確保に努めています。

- 短編動画 Project JAEA (福島県里山を取り戻すために)



森の生態系を壊さず移行抑制ができる
—森林からの放射性セシウムの移行を抑制する新技術—

- 情報公開委員会(2016年9月)



- 未来へげんき(2016 Vol. 43)



- graph JAEA (特集「廃炉に挑む—樫葉遠隔技術開発センター—」)



対話活動・アウトリーチ活動

原子力機構は、研究開発拠点の所在する立地地域を中心に、事業計画や研究開発の成果等についてご説明し、ご意見を伺う直接対話活動を実施しています。

また、事業内容を直接見て知っていただくための施設公開や見学者の受け入れを積極的に行っています。他にも、原子力機構報告会をはじめ、研究拠点や研究テーマごとのシンポジウムやサイエンスカフェの開催、外部展示イベントへの出展等、職員の顔が見える形でのアウトリーチ活動に取り組んでいます。

さらに、高等専門学校生や大学生を対象とした「大学等への公開特別講座」、小中学生、高校生などを対象とした出前授業や実験教室などの学校教育支援、行政機関等に対する放射線や原子力防災に関する講師派遣などを行っています。

これらの活動においては、参加者に対するアンケート調査を実施して理解度を把握するとともにご意見を伺うことにより、内容のさらなる充実に努めています。

- J-PARC施設公開(2016年7月)
- 原子力機構報告会(2016年11月)
- 福島研究開発部門成果報告会(2017年2月)



- 青少年のための科学の祭典2016
- エコプロ2016
- 大学等への公開特別講座



リスクコミュニケーション

リスクコミュニケーションとは、対象が持つ利点も欠点もすべてを開示して関係者が語り合い、関係者間の信頼構築を目指すものであり、下図のように「情報公開」「双方向」「共考」という3つの段階に分けられます。原子力機構においては、これまで積極的な広聴・広報・対話活動を行ってきましたが、これらの活動にリスクコミュニケーションの考え方を付加することが必要と考え、2016年度よりその取組みを開始しました。

具体的には、原子力機構の各拠点で取り組んでいる諸活動が、どの程度リスクコミュニケーションの要素を取り入れたものとなっているのかを調査しました。その結果、各拠点における活動の中には、フレンドリートーク、地域住民懇談会、モニター制度等、実質的にリスクコミュニケーションの要素が取り入れられているものも存在することを確認しました。今後は専門機関の支援を仰ぎながら、リスクコミュニケーションの理論に則した活動へと進化させていきます。



- リスクコミュニケーション要素の高い「双方向」及び「共考」取組み例



フレンドリートーク(東海地区)



地域住民懇談会(東海地区)



モニター制度(敦賀地区)

適正な契約 (公正性、透明性、合理性を目指して)

調達等合理化計画の策定

原子力機構は、事務・事業の特性を踏まえ、PDCAサイクル(計画⇒実施⇒評価⇒改善)により、公正性・透明性を確保しつつ自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組むため、2017年度「調達等合理化計画」を2017年6月に策定しました。

合理的な調達の実施

発注に際しては、一般競争入札等を原則としつつも、特殊性・専門性が高い研究開発業務を考慮し、多様な契約方式により、公正性・透明性を確保しつつ合理的な調達を実施しています。

競争性確保のための取組み

入札にあたっては、過度な入札参加条件を付さないことやわかりやすい仕様書の作成に努めるほか、公告期間の十分な確保、年間発注計画のホームページ掲載を行うなど、競争性の確保に取り組んでいます。

また、入札に参加しなかった企業へ不参加の理由を尋ねるアンケートの実施や、高額な契約案件については事前に入札説明会を実施して仕様の理解促進を図るなど、応札者の拡大に向けた取組みを実施しています。

厳格な審査・監視体制

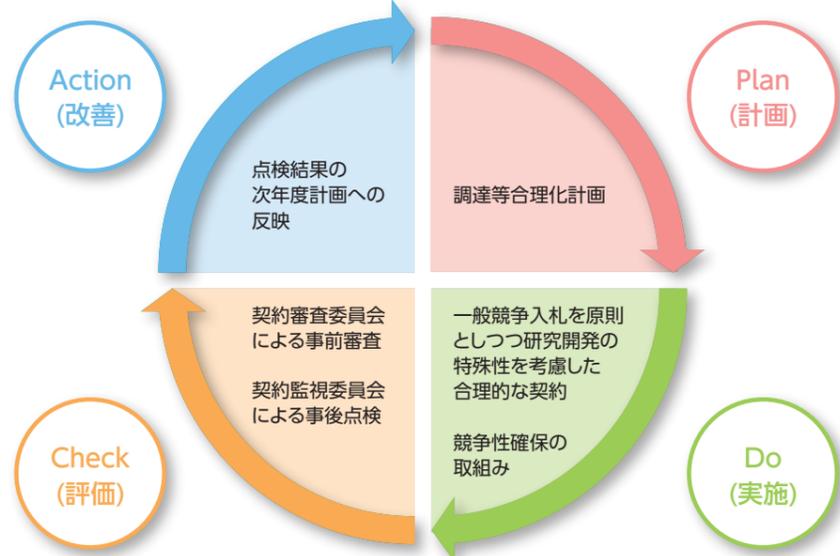
契約予定案件は、「契約審査委員会」(外部有識者を含む)において、入札参加条件及び随意契約の理由及び競争性のある調達手続きの実施の可否について、事前審査を行っています。

また、「調達等合理化計画」の実施状況や締結した個々の契約案件は、「契約監視委員会」(監事及び外部有識者)において事後点検を受け、その結果を次年度の計画や個々の契約に反映し、契約の適正化に努めています。

環境等への配慮

環境保全の観点から、環境物品等(グリーン購入法適合物品等)の調達の推進や慈善のために設立した救済施設(障害者就労施設等)からの優先調達にも取り組んでいます。

●原子力機構における契約のPDCAサイクル

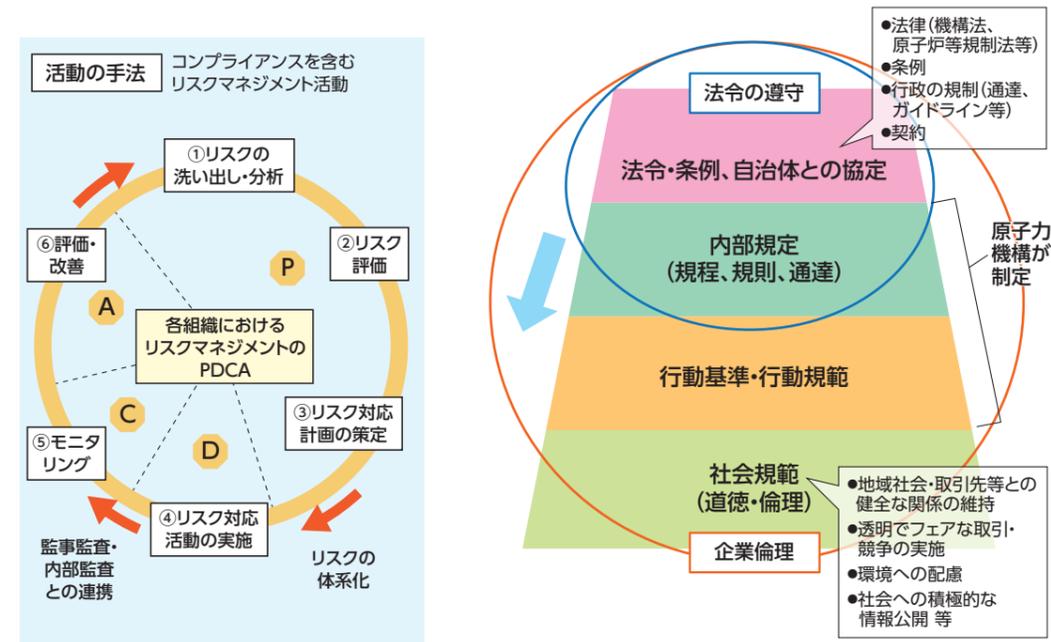
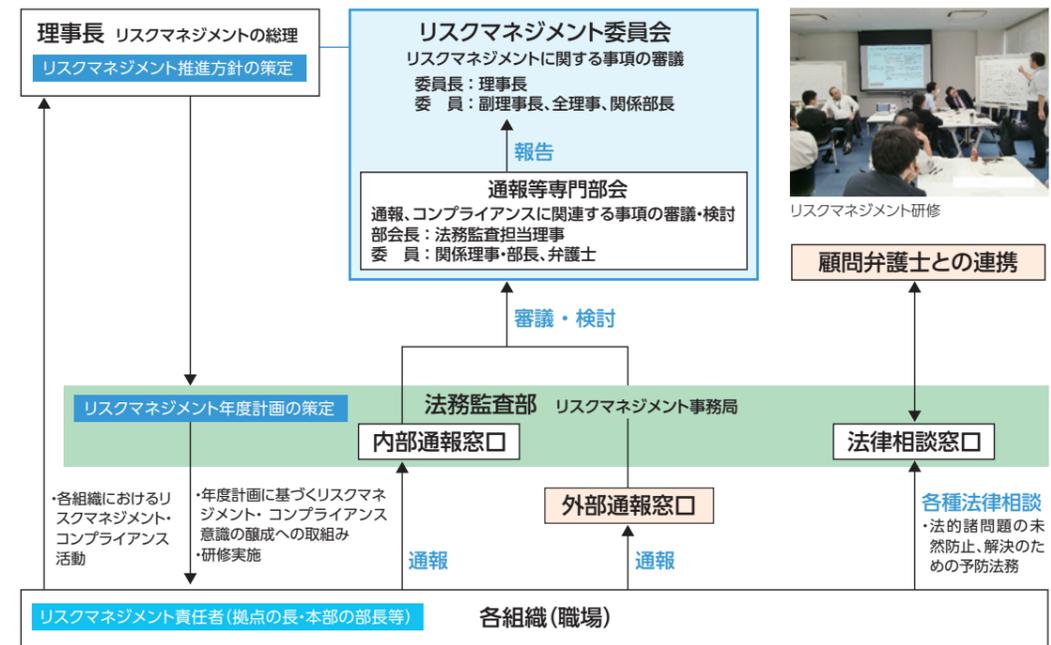


※調達等合理化計画の詳細は原子力機構ホームページをご覧ください。
https://www.jaea.go.jp/for_company/supply/contract/

リスクマネジメント・コンプライアンスの推進

原子力機構では、コンプライアンスリスクをはじめとするさまざまなリスクの低減及び顕在化防止に向けたリスクマネジメント活動を推進しています。各組織のリスクマネジメント活動のモニタリングや、全役職員を対象にした「リスク・コンプライアンス通信」の配信、研修等による各部署での意識啓発により、原子力研究開発機関として、社会からの信頼に一層応えていきます。

※コンプライアンスの推進に関する詳細は原子力機構のホームページをご覧ください。
http://www.jaea.go.jp/about_JAEA/compliance/



どれもが、守るべき大切なルール